

2004年3月期 中間決算説明会

東京ガス株式会社

代表取締役社長

市野 紀生

2003年10月30日

「見通し」および「インサイダー取引規制」 に関する注意事項

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

本資料について、決算発表後12時間が経過する時点(2003年10月31日・日本時間午前2時頃)までは当該業績のお知らせをご覧になった場合、証券取引法166条第3項及び同施行令30条の規定により、インサイダー取引規制に関する「第一次情報受領者」となります。上記公表時点までの間に当社の株券等の売買等を行うことは禁止されていますので、十分ご注意ください。

- 説明内容 -

(連結ベース)

1. 2004年3月期中間期実績
2. 2004年3月期年度見通し
3. 「フロンティア2007」初年度の進捗状況(トピックス)
4. 参考資料

1. 2004年3月期中間期実績

決算総括

ガス販売量実績

セグメント別(売上高、費用、営業利益)

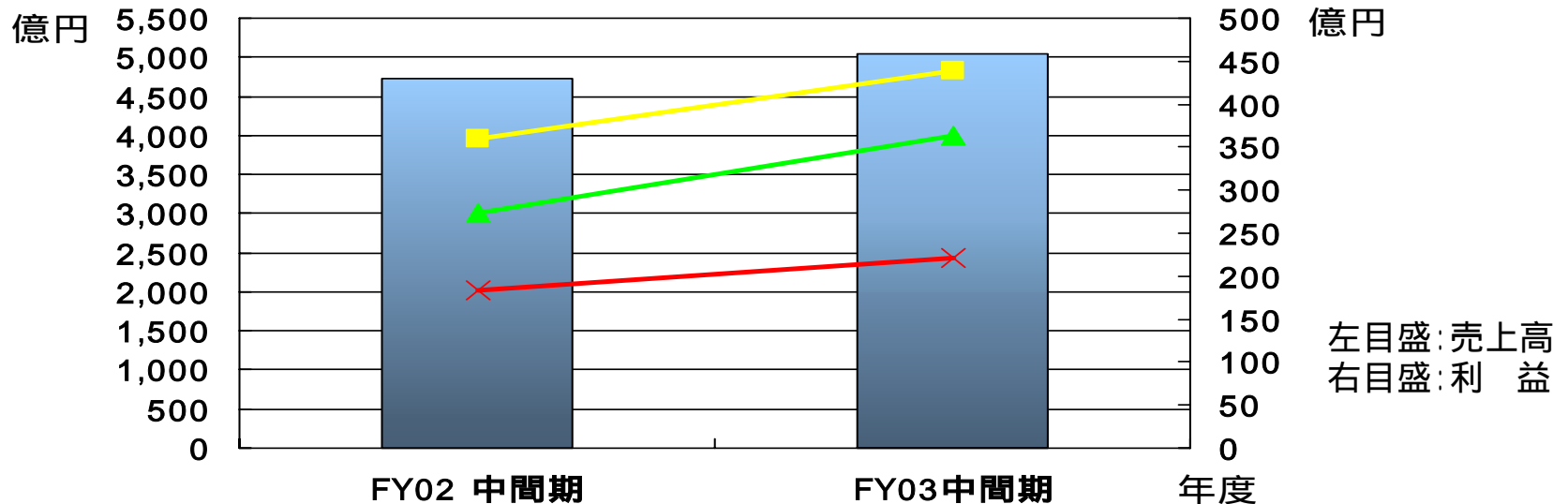
営業外損益・特別損益

B S (資産の部、負債および資本の部)

決算総括

(億円未満切捨て)

	FY02 中間期 実績	当初見通し (4/30時点)	FY03 中間期 実績	対前期 増減	対当初 増減
売上高	4,736	4,870	5,051	+ 315 (+6.6%)	+ 181 (+3.7%)
営業利益	359	170	438	+ 79 (+21.9%)	+ 268 (+157.6%)
経常利益	274	90	364	+ 90 (+32.5%)	+ 274 (+304.4%)
当期 純利益	184	60	222	+ 38 (+20.6%)	+ 162 (+270.0%)



ガス販売量実績

百万m³

前年度比11.7%増
(+5.34億m³)

< 合計50.9億m³ >

<増減要因>

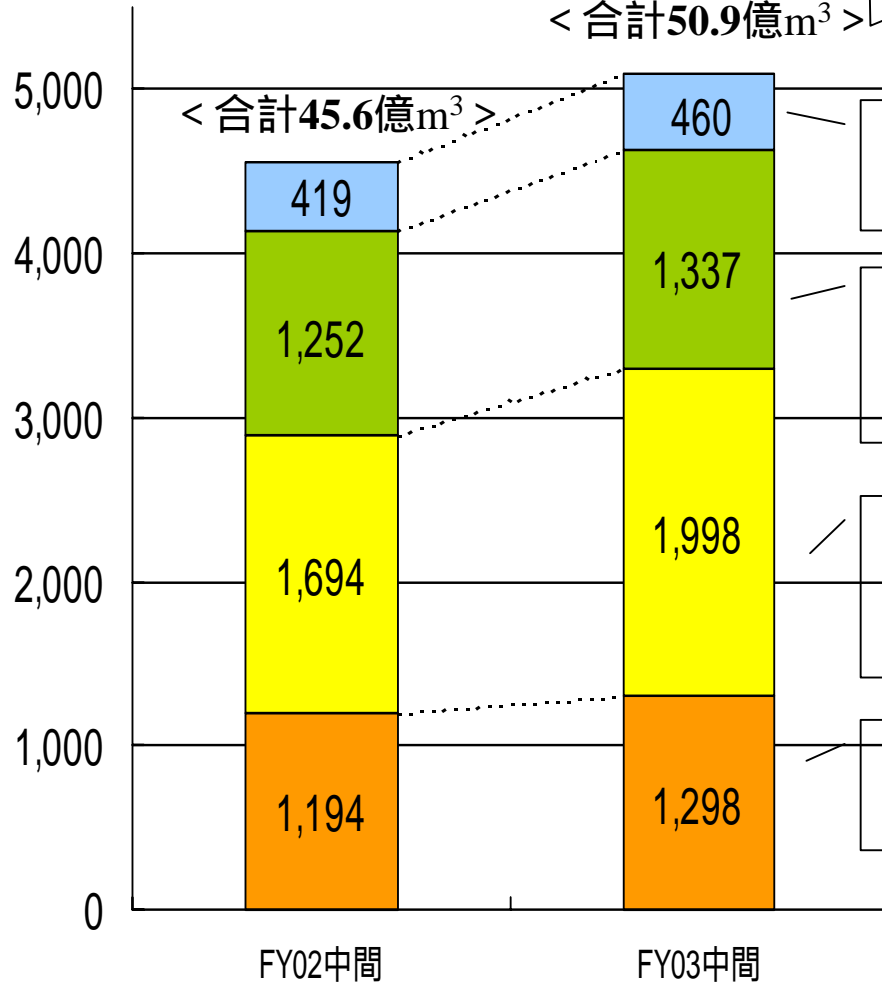
< 合計45.6億m³ >

卸供給 +9.7 % (+0.41億m³)
・供給先事業者への販売量増加

商業用その他用 +6.7 % (+0.85億m³)
・夏期の低気温の影響による空調需要の伸び悩み(-)
・新設物件の稼動開始

工業用 +18.0 % (+3.04億m³)
・発電用需要の増加(発電専用・IPP・コジェネ)
・既存物件の順調な稼動(設備増による稼動増等)

家庭用 +8.7 % (+1.04億m³)
・夏期の低気温の影響による給湯需要の伸び

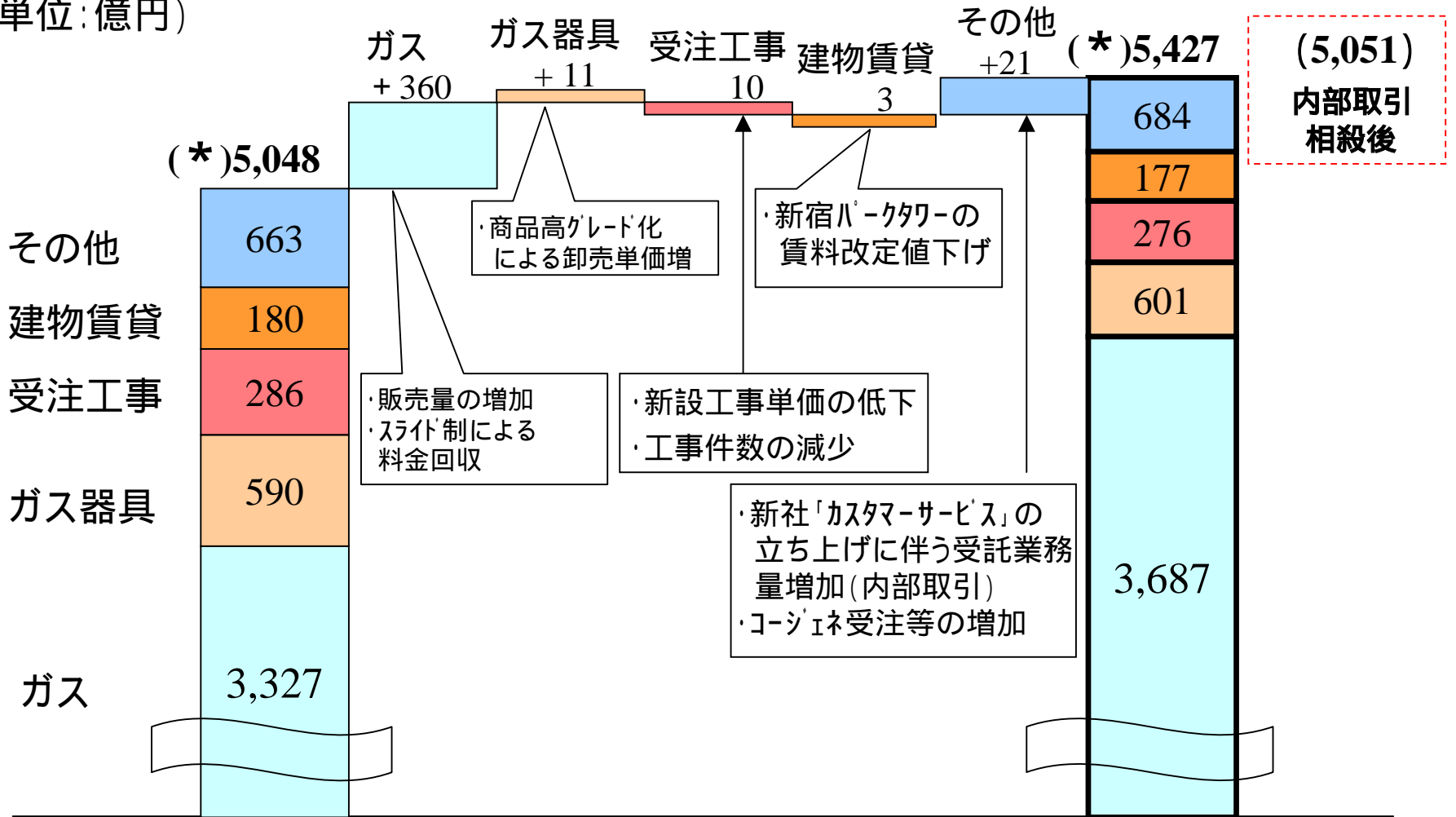


(百万m³未満四捨五入)

セグメント別売上高

(億円未満切捨て)

(単位:億円)

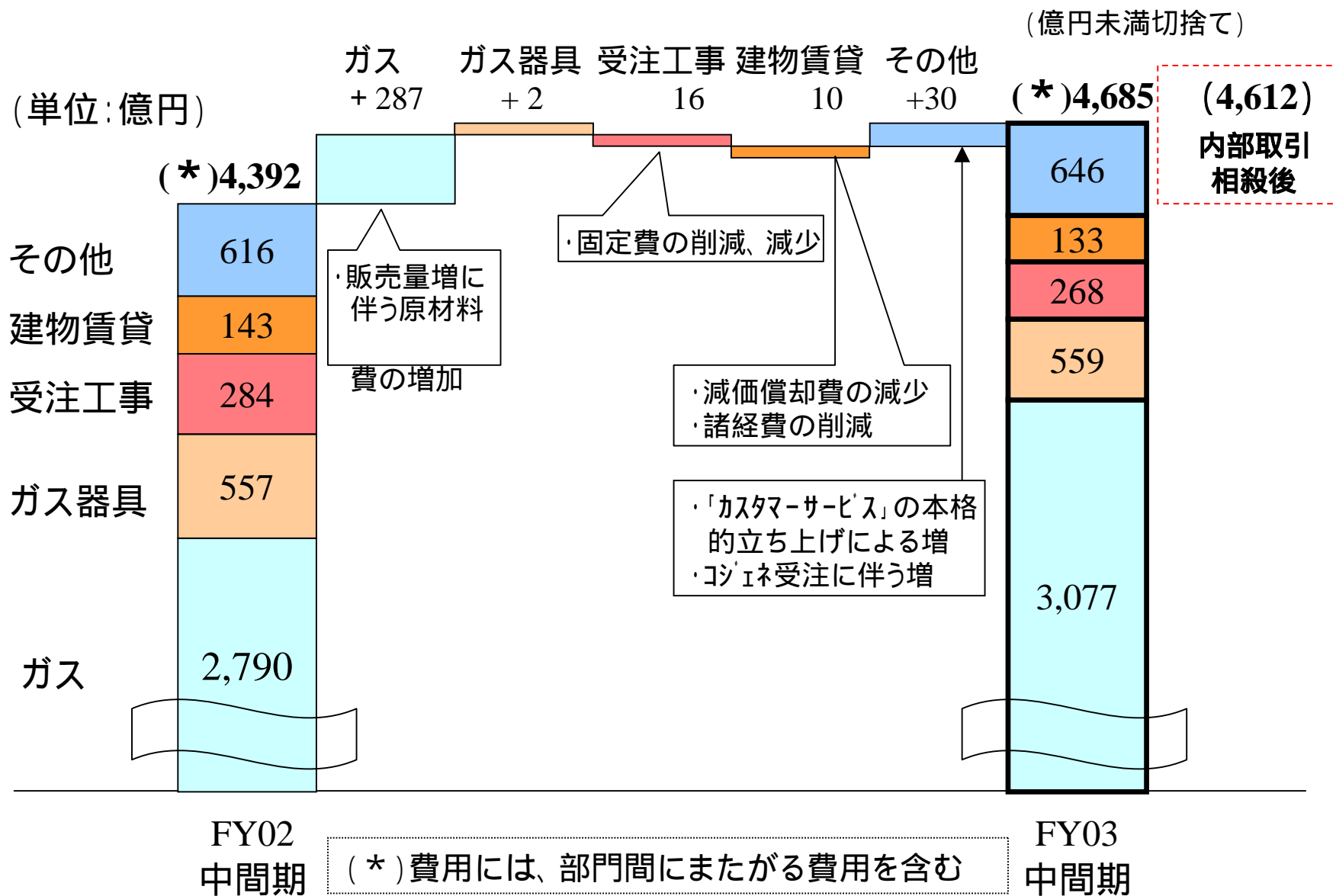


FY02
中間期

(*)売上高には、部門間の内部取引を含む

FY03
中間期

セグメント別費用



セグメント別営業利益

(単位:億円)

ガス +73 ガス器具 +9 受注工事 +6 建物賃貸 +6 その他 9 (億円未満切捨て) (*)742

(*) 655
 その他 47
 建物賃貸 37
 受注工事 1
 ガス器具 32

ガス 537

・販売量の増加

・納入価格の低減
 ・固定費の削減
 ・諸経費の削減

(438)
 内部取引
 相殺後

38
 43
 7
 41
 610

FY02
 中間期

(*)営業利益には、配賦不能営業費用を含まず

FY03
 中間期

営業外損益・特別損益

(億円未満切捨て)

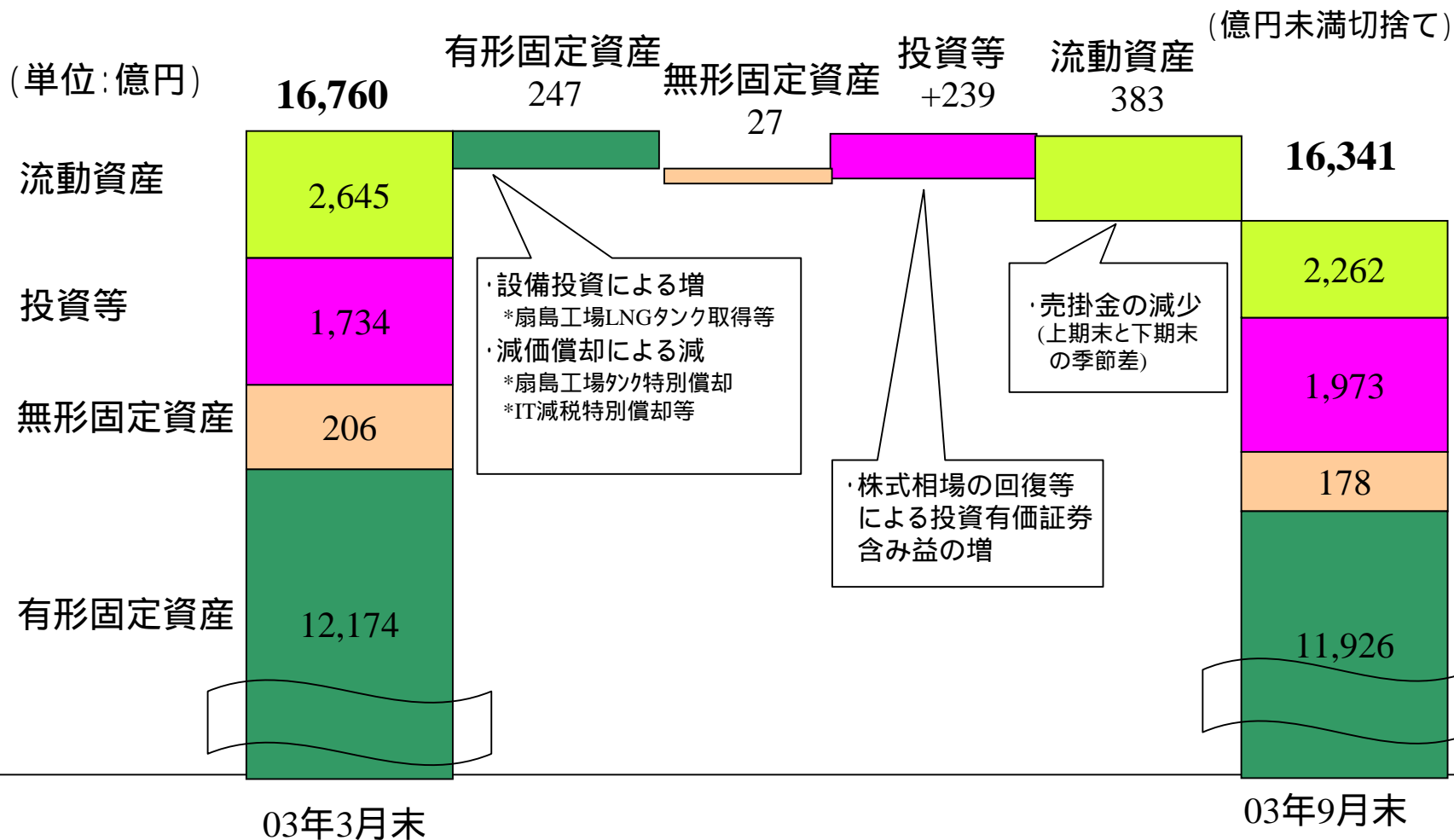
営業外損益： 73億円(対前期比 + 10億円)

営業外収益	44億円(対前期比	+	4億円)
営業外費用	118億円(同		6億円)
・支払利息	78億円(同		6億円)

特別損益： 3億円(対前期比 23億円)

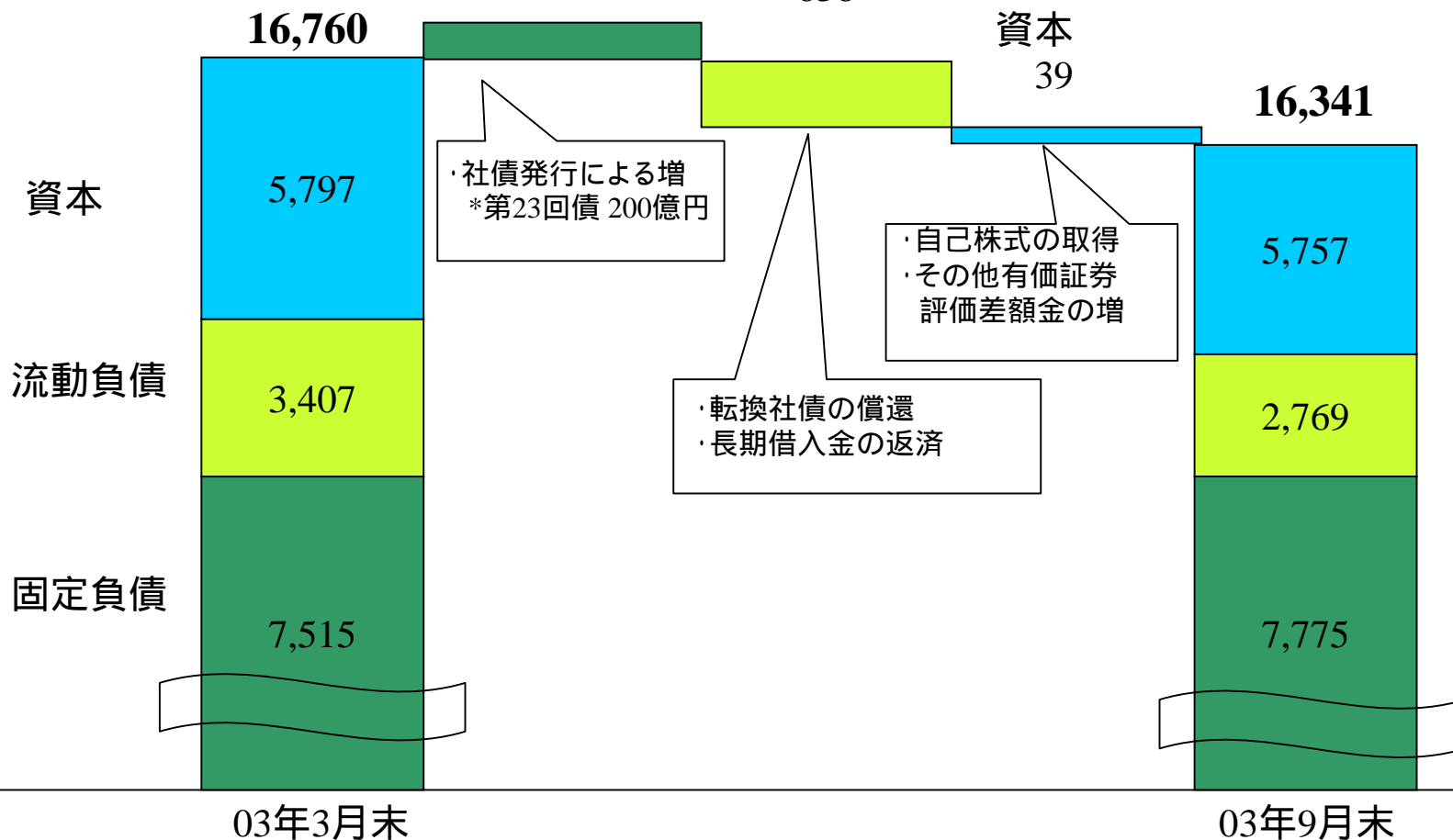
特別利益			
・固定資産売却益	1億円(対前期比		1億円)
・有価証券売却益	5億円(同		12億円)
特別損失			
・固定資産売却損	11億円(同	+	10億円)

BS (資産の部)



BS (負債および資本の部)

固定負債 +259 流動負債 638 (億円未満切捨て)
資本 39



2. 2004年3月期年度見通し

ガス販売量見通し

年度決算見通し

ガス販売量見通し

前年度比6.4%増
(+6.70億m³)

<年度見通し増減要因>

卸供給 +5.0 % (+0.48億m³)

・卸先需要の順調な拡大

商業用その他用 +7.0 % (+1.81億m³)

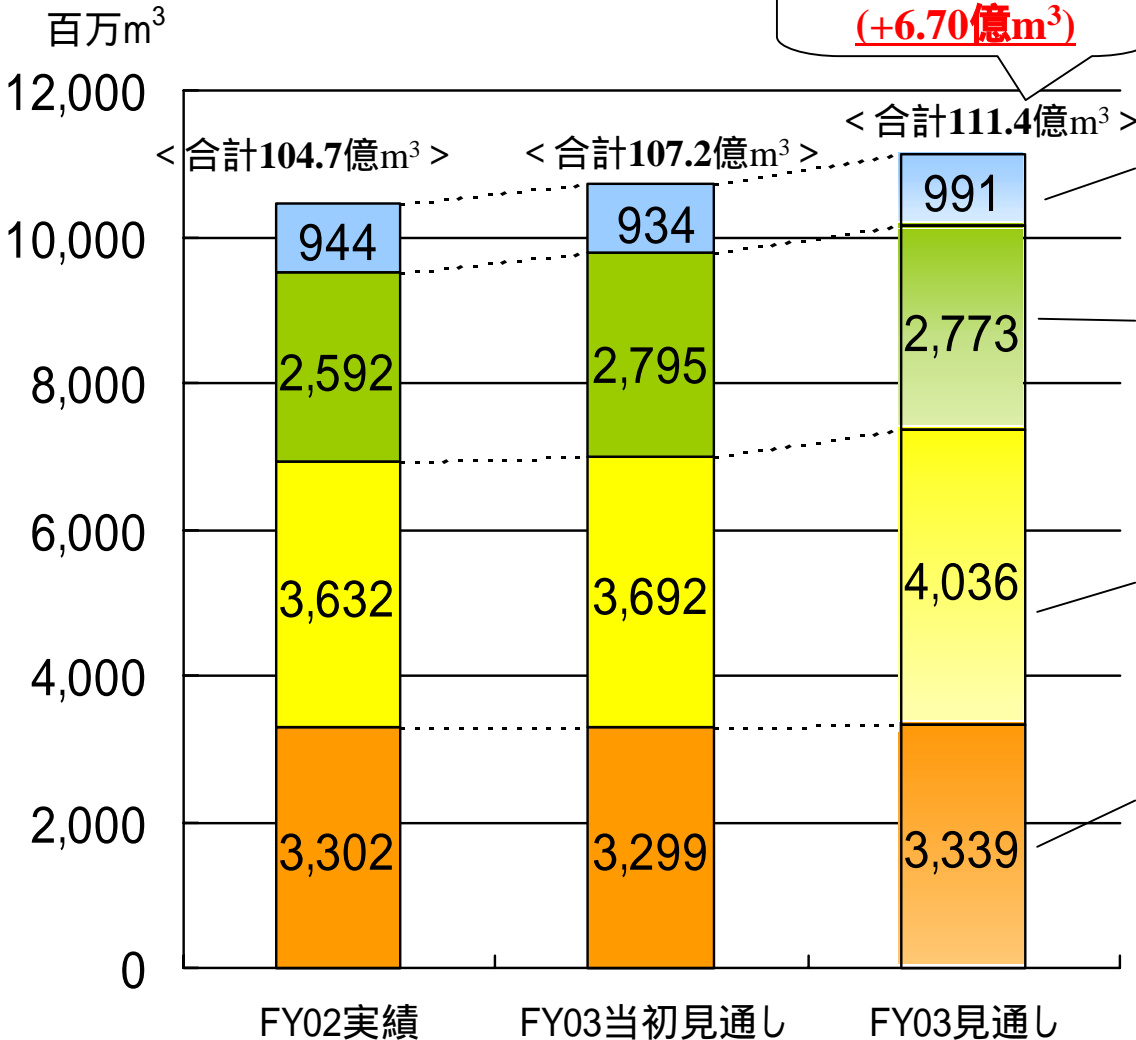
・新規物件の獲得
・既存大口物件等の順調な稼動

工業用 +11.1 % (+4.03億m³)

・発電向け中心に引き続き需要拡大の見込み

家庭用 +1.1 % (+0.37億m³)

・02年度の厳冬の反動減
・新規お客様の獲得



(百万m³未満四捨五入)

年度決算見通し

(億円未満切捨て)

	2002 年度 実績	2003 年度		差異	
		当初見通し	年度見通し	対 02 年度	対当初
総売上高	11,276 億円	11,390 億円	11,620 億円	+344 億円 +3.0%	+230 億円 +2.0%
ガス売上高	7,924 億円	8,080 億円	8,337 億円	+412 億円 +5.2%	257 億円 +3.2%
その他売上高	3,352 億円	3,310 億円	3,283 億円	68 億円 2.1%	27 億円 0.8%
営業利益	1,232 億円	1,080 億円	1,430 億円	198 億円 +16.0%	350 億円 +32.4%
経常利益	919 億円	890 億円	1,220 億円	301 億円 +32.7 %	330 億円 +37.1%
当期純利益	592 億円	580 億円	760 億円	168 億円 +28.4%	180 億円 +31.0%

3. 「フロンティア2007」初年度の 進捗状況(トピックス)

主要経営目標

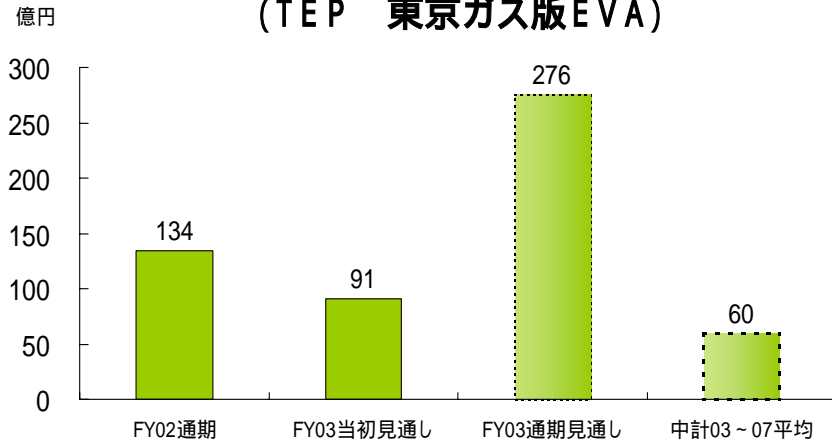
(TEP、FCF、ROA、有利子負債残高)

自己株式取得

エネルギー関連領域への事業拡大

主要経営目標

(TEP 東京ガス版EVA)

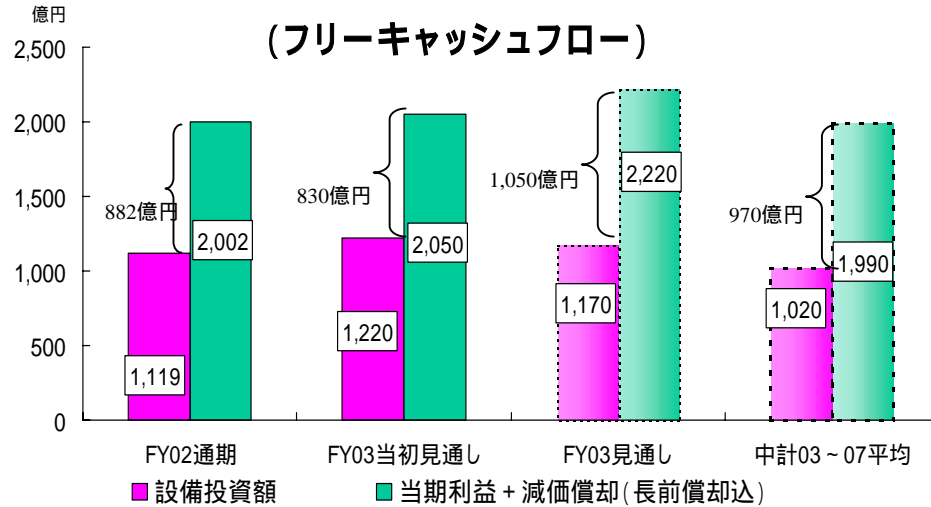


WACC: 02年度4.4%、03年度見通し4.5%

・有利子負債コスト: 2.23% (税引後)、3.5% (税引前)

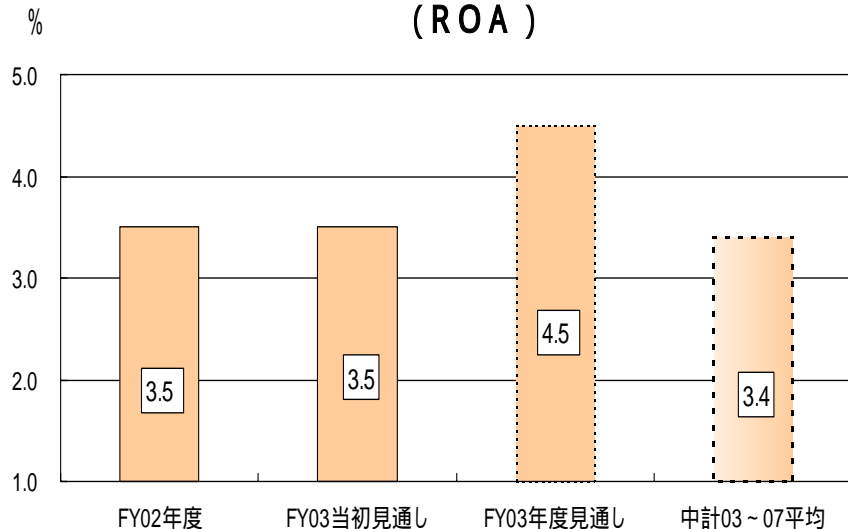
・株主資本コスト: 6.5% (=3.5% (リスクフリーレート) + 0.75 (値) × 4% (リスクプレミアム))

(フリーキャッシュフロー)

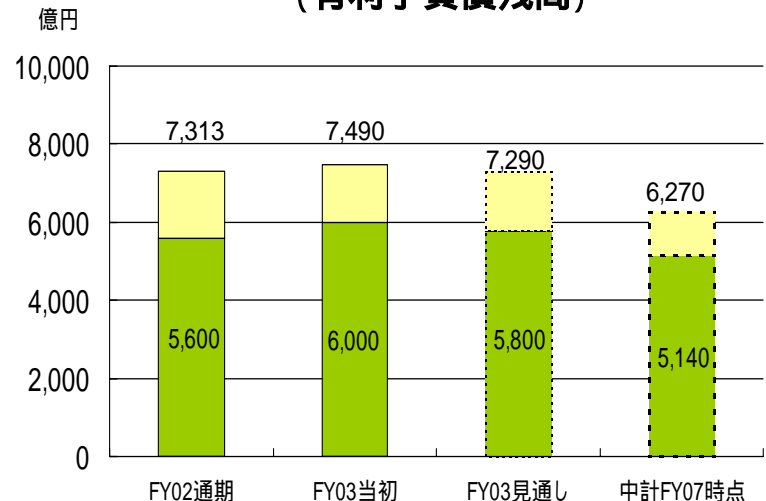


	FY02通期	FY03当初見通し	FY03見通し	中計03~07平均
当期利益	592億円	580億円	760億円	—
減価償却費	1,410億円	1,470億円	1,460億円	—

(ROA)



(有利子負債残高)

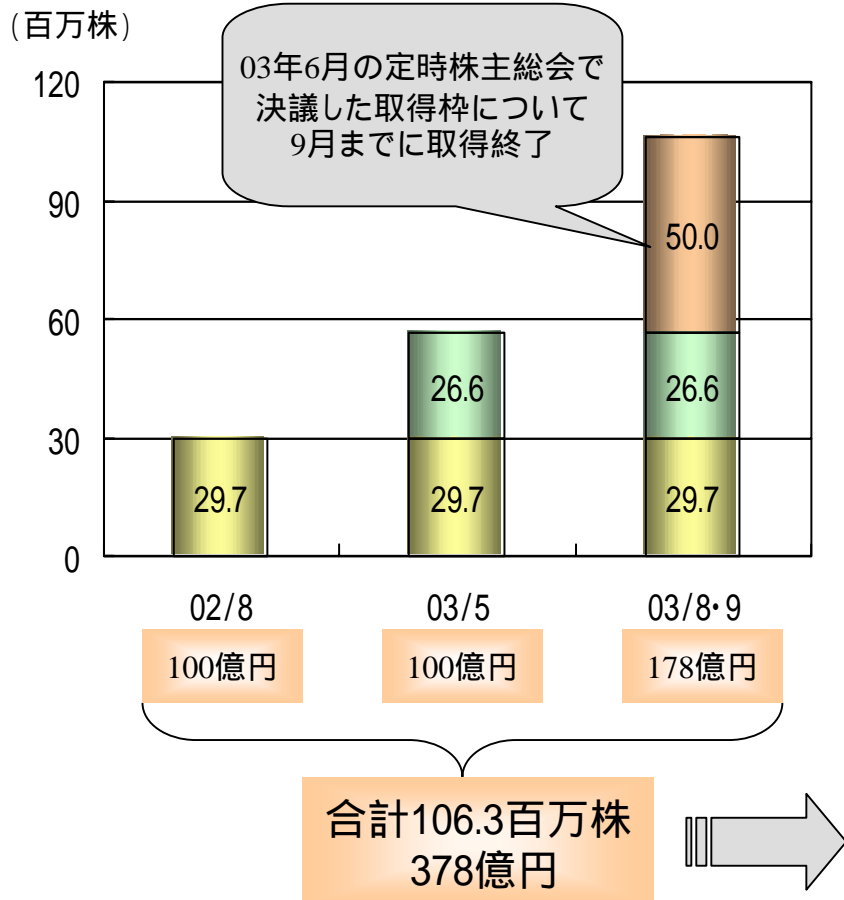


■ 単体 ■ 連結

自己株式取得

「フロンティア2007」・・・5ヶ年間で1,000億円の自己株式取得を実施

- 取得実績 -



大株主の状況 (2003年9月末現在)

- 1位：日本トラスティサービス信託銀行(信託口) [151.9百万株]
- 2位：日本生命保険相互会社 [151.5百万株]
- 3位：日本マスタートラスト信託銀行(信託口) [141.1百万株]
- 4位：第一生命保険相互会社 [135.9百万株]
- 5位：東京ガス [108.8百万株]**
- ...
- 9位：東京ガス社員持株会 [42.8百万株]

現在は金庫株として保有

CBの転換への充当、消却、M&A等

エネルギー関連領域への事業拡大

< 上流・輸送分野への進出 >

ダーウィンLNGプロジェクトへの正式参画(出資比率3.36%)(6月)

- ・2006年1月から17年間、100万トン/年購入、全量FOB契約
- ・東京電力との共同出資(東電6.72%)、共同購入(東電200万トン/年、当社100万トン/年)

自社LNG船「エネルギーフロンティア」号の就航(9月)

- ・初の100%自社所有船(145,000m³)、マレーシアや西豪州のFOB分を輸送

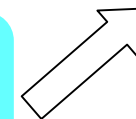
+

サハリン プロジェクトとの売買基本合意

- ・2007年4月から24年間、110万トン/年、全量FOB
- ・近距離、豊富な埋蔵量、供給ソースの分散化、競争力ある価格メカニズム



LNG価格低減
柔軟性の拡大
輸送事業の拡大



< 電力事業への進出 >

東京ガスベイパワー(10万kW)の営業運転開始(10月から、エネット向け)

企画会社「扇島パワー」設立(7月)

- ・120万kW(40万kW×3基)クラスの発電所、2009年運転開始目標
- ・シェルグループとのアライアンス

東京ガス横須賀パワー

(トーマンパワー横須賀(24万kW))の株式取得(7月)

・東電へのIPP事業(90%分)

・2006年度運転開始予定



300万kW構想
への着実な進展

4. 参考資料

主要計数表(1)

主要計数表(2)

主要計数表(1)

(億円)

	中間期			年度		
	FY02 実績	FY03 実績	対前期比	FY02 実績	FY03 見通し	対前期比
売上高	4,736	5,051	+6.6%	11,276	11,620	+3.0%
ガス売上高	3,327	3,687	+10.8%	7,924	8,337	+5.2%
その他売上高	1,409	1,364	-3.2%	3,352	3,283	-2.1%
営業利益	359	438	+21.9%	1,232	1,430	+16.0%
経常利益	274	364	+32.5%	919	1,220	+32.7%
純利益	184	222	+20.6%	592	760	+28.4%
TEP	-57	-19	-66.7%	134	276	+106.0%
為替(円/US\$)	123.07	118.08	- 4.99	121.98	114.04	- 7.94
原油(\$/bbl)	25.57	28.42	+ 2.85	27.39	28.21	+ 0.82
気温()	22.5	21.7	- 0.8	16.1	16.3	+ 0.2

主要計数表(2)

(億円)

	中間期			年度		
	FY02実績	FY03実績	対前期比	FY02実績	FY03見通し	対前期比
総資産(a)	16,469	16,341	-0.8%	16,760	16,770	+0.1%
株主資本(b)	5,627	5,757	+2.3%	5,797	6,160	+6.3%
株主資本比率(b)/(a)	34.2%	35.2%	-	34.6%	36.7%	-
有利子負債残高	7,776	7,697	-1.0%	7,313	7,290	-0.3%
利益キャッシュフロー(c)	184	222	+20.6%	592	760	+28.4%
投資キャッシュフロー (d) = (f) - (e)	203	250	+23.0%	290	290	-0.1%
設備投資(e)	479	507	+5.6%	1,119	1,170	+4.5%
減価償却(f)	683	757	+10.8%	1,410	1,460	+3.5%
フリーキャッシュフロー (c) + (d)	387	472	+21.8%	882	1,050	+19.0%
ROA : (c) / (b)	1.1%	1.3%	-	3.5%	4.5%	-
ROE: (c) / (a)	3.3%	3.8%	-	10.4%	12.7%	-
EPS(円)	6.57	8.10	+1.53	21.18	28.11	+6.93

(注) ROA=当期純利益 / 総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益 / 株主資本(期首・期末平均)

EPSの分母は期中平均株数

フリーキャッシュフロー={利益キャッシュフロー-(当期純利益)} + {投資キャッシュフロー-[(減価償却費)-(設備投資)]}